

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分)	
(理由)	

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

13. 研究発表（平成23年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

【雑誌論文】 計（ 0 ）件 うち査読付論文 計（0）件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

〔学会発表〕計(5)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標 題		
Misato Kashiba, Mikiko Oizumi, Masaru Suzuki, Yoshimi Sawamura, Kohei Nagashima, Choon Yuen Jong, Shinichi Yoshimura, Yorihiro Yamamoto	A role of prosaposin /saposin B in regulating coenzyme Q10 and cholesterol contents in HepG2 cells		
学会等名	発表年月日	発表場 所	
第34回日本分子生物学会	2011年12月13日—16日	横浜 (パシフィコ横浜)	

発表者名	発表標 題		
及川慎吾, 寺嶋政之, 加柴美里, 山本順寛	CoQ10 結合タンパク質プロサポシン遺伝子を改変した小腸上皮細胞様 Caco-2 細胞		
学会等名	発表年月日	発表場 所	
第64回日本酸化ストレス学会	2011年7月2日～3日	北海道 (ルスツリゾートホテル&コンベンション)	

発表者名	発表標 題		
宮内優樹, 寺嶋政之, 石原秀浩, 加柴美里, 山本順寛	小腸上皮細胞様 Caco-2 細胞による CoQ10 の取り込みと分泌		
学会等名	発表年月日	発表場 所	
第64回日本酸化ストレス学会	2011年7月2日～3日	北海道 (ルスツリゾートホテル&コンベンション)	

発表者名	発表標 題		
ジョン・チュンユン, 長嶋康平, 大泉美希子, 鈴木優, 森内寛, 加柴美里, 吉村眞一, 山本順寛	コエンザイム Q 結合蛋白質プロサポシン発現量改変株の酸化ストレスに対する感受性		
学会等名	発表年月日	発表場 所	
日本コエンザイムQ協会第9回研究会	2012年1月24日	東京 (東京工科大学)	

発表者名	発表標 題		
宮内優樹, 関学, 宮前多佳子, 藤田秀次郎, 石田史彦, 森内寛, 加柴美里, 横田俊平, 山本順寛1	母乳中のコエンザイムQ10とその結合タンパク質プロサポシン		
学会等名	発表年月日	発表場 所	
日本コエンザイムQ協会第9回研究会	2012年1月24日	東京 (東京工科大学)	

〔図 書〕 計(0)件

著者名	出 版 社		
書 名	発 行 年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出 願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--